木材利用　福井県　福井市（公共施設における木材利用（中学校整備））

- 福井市では、「福井市木材利用基本方針」に基づき、公共建築物における木造化・木質化を推進し、県産材の利用に努め、木材利用の促進を図っている。
- 中学校の整備に伴い、福井県産の木材を使用し県内の木材産業の活性化に貢献するとともに、子どもたちに木材を身近に感じでもらうことで、森林の大切さや木材利用の普及啓発に取り組む。

□　事業内容

福井市九頭竜中学校新築工事

- 新たに整備される九頭竜中学校の内装の木質化。

【事　業　費】3,659,987千円（うち譲与税20,000千円 ）
（譲与税は、内装材等の木材に係る部分に充当）
【実　　績】木材使用量１５２㎥


（メディアセンター１階）


（メディアセンター２階）


（普通教室）


（テラス天井）

□　取組の背景

- 当該地区では土地区画整理事業に伴う人口増加により生徒数が増加し、中学校を新たに開校することとなった。
- 本市が行う公共建築物における木材利用促進事業において、木材使用量のうち県産材の使用割合に応じて上限額以内で譲与税を充当している。

□　工夫・留意した点

- 県産材の調達のため、主管課と木材調達に関する事前打ち合わせを実施。
- 譲与税充当により主管課は財政上の軽減が図られ、林業水産課としては木材利用を推進することができるという相乗効果が生まれている。

□　取組の効果

- 木材使用量１５２㎥のうち、県産材を７６．４㎥使用。
- 子どもたちが集う空間は、内装の木質化を図り県産木材を活用することで、木の温もりを感じる空間となった。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：147,303千円	②私有林人工林面積（※１）：17,347ha	
③林野率（※１）：59.5%	④人口(※２)：262,328人	⑤林業就業者数（※２）：180人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」 より